

2023年6月8日

糖尿病センターの外来診療にて持続血糖測定器(CGM)を使用された患者様へ

「パーソナル持続血糖測定器 (CGM) 装着が血糖マネージメントに及ぼす効果を検討する研究」への協力をお願い

糖尿病センターでは、過去または現在にパーソナル持続血糖測定器(CGM)を使用した患者様の試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

① 研究の対象

木沢記念病院および中部国際医療センター 糖尿病センターにてパーソナル持続血糖測定器 (フリースタイル・リブレまたは Dexcom G4 / G6) を装着し、最低3ヶ月は使用された患者様

② 研究の期間

2023年6月8日～2023年12月31日

③ 研究の目的

CGMの使用により、血糖マネージメントが改善し、低血糖が減じ、日々の生活で不安が軽減するといった報告がされている。今回、当院においてCGMを同意のうえで導入した患者様において、その導入以降に血糖マネージメントが本当に改善し、低血糖の時間などが減じているのかなどを検証するとともに、医療面接や看護相談の中で得られた個々の意見や要望からCGMをより有効に使用する方策を検討する。

④ 研究の方法

2018年1月1日～2023年5月31日までの木沢記念病院および中部国際医療センターの糖尿病センター外来でパーソナル持続血糖測定器(CGM)を装着した症例から得られた1) 年齢、性別、糖尿病歴などの情報 2) 体重などの身体計測値 3) 血糖、HbA1c, さらにはCGMで得られる血糖マネージメント上の指標などを電子カルテ上から取得し、後方視的にCGM装着が糖尿病診療に有益か、そしていかなる点で有用かを検討する。尚、分析に使用する個人情報、データは匿名化し、個人識別は不可能とします。

⑤ 研究責任者

高見 和久 所属 中部国際医療センター 糖尿病センター センター長

⑥ 共同研究者

今井 理紗子	中部国際医療センター	糖尿病センター	医員
川島 知也	中部国際医療センター	糖尿病センター	医員
藤澤 太郎	中部国際医療センター	糖尿病センター	医長
堀田 亮輔	中部国際医療センター	糖尿病センター	副部長
酒井 勝央	中部国際医療センター	糖尿病センター	部長
山田 明子	中部国際医療センター	糖尿病センター	部長
三好 徹	中部国際医療センター	糖尿病センター	看護師

研究への参加辞退をご希望される方へ

本研究に関して新たに患者様に行っていただくことはありません。また、ご自身に新たに費用が発生することはありません。本研究に関する質問等がありましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には、研究の対象といたしませんので、以下の連絡先まで申し出ていただけますようお願いいたします。なお、本研究は中部国際医療センター医学研究等倫理委員会の承認を得ております。また、この研究の参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当病院における診療・治療において不利益をこうむることはありません。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利益相反」は存在しません。

連絡先

中部国際医療センター 糖尿病センター

電話番号 0575-66-1100 (内線 7870)

責任者氏名：高見 和久